



武田薬品工業株式会社

代表取締役社長 長谷川 閑史

(コード番号 4502 東証第1部)

問い合わせ先 コーポレート・コミュニケーション部

TEL 03-3278-2037

2009年6月4日

**欧州における2型糖尿病治療薬 SYR-322 および SYR-322 とアクトスの合剤
の開発状況について**

当社は、このたび、欧州における SYR-322 (一般名:alogliptin)、および SYR-322 とアクトス (一般名:pioglitazone)の合剤にかかる開発戦略を再検討し、長期投与の追加臨床試験を開始しましたので、お知らせします。

本追加臨床試験は、メトホルミン単独療法では血糖コントロールが不十分な2型糖尿病患者さん2,500名弱を対象に、SYR-322 追加投与群と、スルフォニル尿素剤である glipizide 追加投与群における有効性と安全性を、約2年間にわたり比較検討するものです。

本追加臨床試験の実施により、申請時期については当初予定していた本年半ばから2012年頃になる見込みですが、当社では、欧州における SYR-322 および SYR-322 とアクトスの合剤にかかる販売許可取得を確実なものとするために必要なデータが得られるものと考えています。

SYR-322 は、武田サンディエゴ株式会社(米国カリフォルニア州、当社の100%子会社)が創製した DPP-4 阻害薬であり、SYR-322 とアクトスの合剤は、2型糖尿病の主な病態であるインスリン分泌低下ならびにインスリン抵抗性の改善によって効果を発揮することにより、優れた血糖コントロールの実現が期待されます。

以上